

セルフスタンドでは 静電気に気をつけて!

給油が終わるまで、給油ノズルから手をはなさない



作業は最後までひとりで
静電気の火花がガソリンなどの気化ガスに引火するおそれがある。給油口を開ける前に、クルマのボディや給油ホースの金属部分にふれて、体にたまった静電気をとりのぞこう!

キャップは必ずおまみを持ち、ゆっくり左に回します。この時、シューと音がしたら、音がやむまで待ってから、キャップを開けます。音が止まる前に開けると気化ガスがふき出すおそれがあります。

スタッドレスタイヤの寿命は?

残残り溝の深さが50%未満のタイヤは、冬用タイヤとしては使用できません。接地部に冬用タイヤの摩耗度を示すアラッドフォームが露出しているか否かで判断しましょう。



冬のアイテム そろえてますか?

冬のドライブ



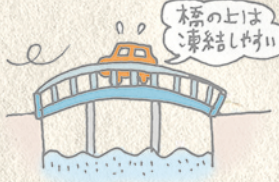
Honda Cars 西暦のアポロくん
マスコットキャラクター



知って
安心
お役立ち!

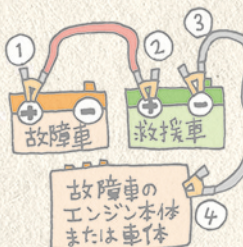
豆知識

参考文庫:「ワンポイントアドバイス」Hondaホームページ
「すてきなカーライフのすべし方」社団法人日本自動車工業会



橋の上やトンネルでの ブレーキングにご注意!

雪道や凍結した道路での急ブレーキは、とても危険。とくに要注意なのが橋の上やトンネルの出入口、カーブの手前などです。早め早めのブレーキングを心がけましょう。



詳しくは日本自動車工業会ホームページ上の「安全運転講座」を参照。

もしもバッテリーがあがってしまったら

近くの車に救援を求め、①～④の手順どおりに正しく接続しよう。手順をまちがうと危険です! 必ず手順番は、④③②①

駐車は平地で。 フロントを風下に。



フロント部を風下にして駐車しておくと、エンジンやラジエータの凍結トラブルを防げます。駐車は平地で選びましょう。